



寺報の名前が決まるまで
もうちょっとだけだけ！

はくがんさん

白巖山 法住寺 発行

〒410-2501

静岡県伊豆市下白岩563

☎0558-83-0320 FAX0558-83-0391

<http://juryo.jp/>

令和6年正月（第3号）



法住寺LINE

登録よろしくおねがいします



明けてましておめでとうございます

「日本一の檀信徒・縁者」の皆さま！

昨年は法燈継承式もあり、大変お世話になりました。仏天と各家ご先祖さま、そして皆さまに支えて頂き、新住職として最初のお正月を迎えることが出来ました。改めて感謝申し上げます。今年も皆さんと異体同心！本年も宜しくお願致します。

お寺の経営・運営は、経栄・運栄

以前の私は、お寺を経営するという言葉が好きではありませんでした。何故なら経営＝経済中心という勝手なイメージを持っていたから。しかし目の前の世界はやっぱり娑婆世界。住職として寺院の経営努力をすることは大切なことだと思うのです。

経営という漢字は、お経を営むと書きます。そこで経営という字を調べてみるとその起源は仏教にあったのです。経とは、布を織る時のしかりと通す経糸（たて糸）のこと。営とは日々行う、体現することとある。仏さまの教えを大切にし、真っすぐな経糸、筋道・理念を持って、その教えを日々の生活に活かすことが経営なのです。

本は経糸を通して綴ります。仏さまの善き教えがバラバラにならない様に、しっかり後世に伝わるように、日蓮聖人はじめ、歴代先師、皆さんのご先祖さまが脈々と繋げて下さった経という経糸がある。そして、そこに綴られた歴史というページがあります。



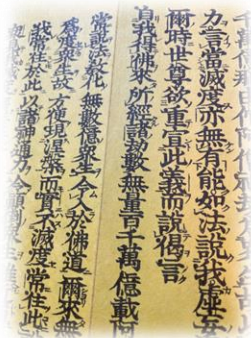
私の目の前にも同じように法住寺の経糸にいつの日か綴るページがあります。それは檀信徒・縁者の皆さんと共に記し、描いていくページです。「皆さんにそのページお任せします」とは言いたいところですが、いつも他力本願ではなく自力も大切と言っている手前、特別なことは出来なくとも、仏さまの教え、法華経をいかに日々の中に活かし、どう営んでいけるか。どうしたら仏天や、ご先祖さま、皆さんに喜んで頂けるかなのだと思います。

お経には「一々文々是真仏」という一節があります。お経品の一文字一文字は仏さまであり、仏さまの御心あらわれて文字となり、文字変じて仏さんの御心となる。仏さまの御心は善き心なる故に、お経の意味は理解しなくてもそのお経を唱え、聞く人の利益は無量無辺であると。

日蓮聖人のお手紙には「善根をなせば必ずさかう」とあります。花は咲いて実を結ぶ。月は夜空に昇れば必ず満る。灯は油を注せば勢いが増す。草木は雨降れば栄える。人は、善き心を持って、善き行いをすれば必ず栄えると。

法住寺は、その法の住するお寺。お題目・法華経が住むお寺です。法住寺の経営・運営は、御題目・法華経が益々栄え、それによって皆が、皆さんの運氣が益々栄える経栄・運栄。そんなお寺に出来る様、

今年も自力と他力で一切円満。またそれを皆さんと一緒に出来ると思います。すとかワクワクするのです。



謹賀新年

法住寺護持会



「総代・護持会長」伊東一衛

「総代・副会長」土屋正次

「総代」山田邦光

「顧問」山下 一・伊東 修

「世話人」山田邦光・森野智喜

山下武志・加藤正喜

山下克俊・山崎正行

伊東和也・伊東健三

室野 泉

「監査」小塚健治・小塚秀夫

中伊豆立正大題目講「会長」

伊豆連合大題目講「理事」

山下 要

久しぶりの院首さん！



皆さんが、気持ちよくお詣できるようにと毎日作業着で山へ境内へ。見かけたときは声をかけて下さい！

昨年は法燈を継承させて頂きまして、誠にありがとうございました。これも皆々さまのお陰と心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。これもおかげさまで身が軽くなり、周りの景色が以前にも増して柔軟に善く善くみえ、愉快な気持ちでお勤めさせて頂いています。住職の洋明さんも精進しており、また役員さんはじめ周りの皆さんが良く支えて下さっていてとても良い雰囲気です。

私は余裕ができたので以前に増して山に入り、今まで手入れたことのないボサボサを払いすごい獣の匂いに驚いたり、何年も前に檀家さんと植樹した樹々の木陰で休んだり、時には急斜面で足を取られそうになりヒヤリとしたり。山に入ると人間が本来持っている動物的本能を呼び覚ましてくれる気がして善いものです。情報を取り巻く変化には凄まじいものを感じますが、科学では考え尽くせない存在、ゆったりとして確実に底地からのある偉大な存在を想います。そんな偉大なものに畏敬の念を持ちながら、今年も歩んでまいりたいと思います。本年も宜しくお願い申し上げます。

境内・山内整備

墓地周辺清掃整備 奉仕作業

十二日講の皆さんの境内清掃奉仕



「いつもきれいなっているね！」とお詣される方々が言ってくれます。その言葉は、仏さまやご先祖さまが言っ下さっているように思うのです。その陰には、年間三回の境内・山内整備作業、春彼岸お盆・秋彼岸・暮れの年四回の墓地周辺清掃整備作業、護持会役員さん、十二日講、有志の皆さんのお蔭様です。いつもありがとうございます。



役員作業の後に、松本さんの日本一の法住寺手打ち蕎麦をいただきました！

ある日の作業をしていましたら、近所の子供たちがお手伝いに来てくれました。子供にとっては、遊びに原体験！



今年も神秘の七面山登詣無事遂行

十一月二十五日、二十六日に毎年恒例の七面山登詣をしてみました。七面山は、法華經の守護神、七面大明神をお祀りする約二千メートルのお山です。七面山は徒歩で登る参道しかなかった。五十丁の参道の途中で「今引き返したら、どんなに楽だろう！」なんて弱き心が出ることもありまう。そんな時、七面大明神は「私はいつでも山頂にいますよ。あなたが一步でも前に足を出せば、その分目標に近づく。その足を前に出すか、後ろに出すかは自分次第」と言われ励まして下さっている気がします。皆が無事に登れます様に！の祈りも無事成就。笑顔元気沢山のお詣りが出来ました。帰りには、身延山へお詣り。日蓮大聖人の祖廟（お墓）詣りも出来ました。今年



二日目の出発に合流できるようにと朝三時から一人で登ってこられた杉山さん！笑顔元気沢山！

七面大明神が降りたといわれる奥の院前の影向石



七面山名物 大やかん



朝日と富士山 ご来光はまた来年！



途中で太鼓を打ってくれた伊東護持会長のお孫さんの壮一郎君・護持会副会長の土屋隊長に元気をもらいました！



身延山 祖廟参拝



年末の大掃除し隊に感謝

十二月十七日、二十名の有志の皆さんが、寒風の中、本堂、庫裡の大掃除をして下さいました。位牌堂では、全檀家さんの御位牌をさげて磨かせて頂きました。「自分の家のご先祖さまだけでなく皆さんのご先祖さまも！」この気持ちちは尊い。お昼には少し早い松本ご夫妻の日本一の法住寺手打ち蕎麦を年越し蕎麦を、デザートに伊東なをみ護持会長奥様の手作りプリンを頂きました。松本さんは、朝の水行の時間にあわせて、御題目を唱えながら蕎麦打ちをして下さったそうです。ある方が帰り際に一言「自分の気持ちちも掃除できた様で気持ちがいいね」嬉しい限りの言葉を頂きました。皆さんありがとうございました。

お蕎麦の奉納
松本ご夫妻

御位牌を順番に降ろして綺麗に並べても、戻す時に元の場所はどこだったの？との声！（笑）



ご志納金 「七月〜十月」

相模原 三田 満 殿	墓地移転の砌
西 佐藤 薫 殿	尊母葬儀の砌
相模原 川田和幸 殿	尊母永代供養の砌
修善寺 小野家 殿	尊母永代供養の砌
西 佐藤 敦 殿	尊母葬儀の砌
元村 手老英子 殿	飯田家葬儀の砌
清水 土屋正次 殿	尊母十三回忌の砌
元村 伊東由廣 殿	尊父十七回忌の砌
伊豆の国市 田中慶子 殿	齋藤家葬儀の砌
元村 山下 要 殿	尊父十七回忌
	尊母十三回忌の砌
沼津市故瓜島宏子 殿	葬儀の砌
伊豆市 山田由治 殿	愛妻永代供養の砌
大京 松本之雄 殿	尊母葬儀の砌

ご志納

伊豆市 篤志者

特製金丸台一基
尊母追善供養の砌

毎月十日は本堂でピラティス LESS

毎月お詣りされる信者さんにピラティスのインストラクターの早乙女先生がいらっしゃいます。毎月十日の十八時。約一時間程のピラティスになります。皆さん気持ちよさそうに参加されています。ちなみに、毎回の五分の法話はわたくし担当！老若男女誰でも参加できます。どうぞご参加下さい。



花は野にあるように
～めくる季節の中で～



今回は秋〜冬にかけての野の花と正月飾り。毎月お詣りをされる信者さんが、昌子さんの活ける野の花を楽しみにして下さっています。お詣り毎に写真を撮り、昨年からのその写真をLINEアルバムにして送って下さいます。



野菊



山



サ



犬



白



あ



久々の昌子さん！